

第48号

平成28年 9 月

発行 高知厚生病院
広報委員会

◆ 高知厚生病院の理念・基本方針 ◆

理 念

私たちは、安全かつ質の高い医療を提供し、皆さまに信頼される病院を目指します。

基本方針

1. 患者さまとご家族、更に地域の皆さまの幸せのための医療を実践します。
2. 患者さまの権利を尊重し、真摯かつ温かい態度で接し、心と心が通い合う医療を実践します。
3. 自己研鑽に努め、更に発展向上を目指します。
4. 地域の医療機関や施設と連携し、効率的な医療を目指します。
5. 地球環境に留意し、災害への備えを怠りません。

新しい高知厚生病院の形

院長 山口 龍彦

厳しい暑さの夏でした。私はこんな暑い夏は初めての経験ですが、皆様、元気に夏を乗り越えることができましたでしょうか。高知厚生病院もこの夏を元気に乗り越えようとしています。



1. 介護老人保健施設への転換について

高知厚生病院はいつも変化し続けていますが、今年の夏はまた大きく変化しました。今まで当院3階は療養病棟として36床で運営していましたが、介護必要度の高い割に医療必要度のさほど高くない患者様が多く療養しておられたことから、厚生労働省の医療病床を削減する方針と方向を同じくすることとしました。つまり、医療保険で運営されていた3階の療養病床を介護保険で運営する介護老人保健施設（老健施設）29床に転換することにしたのです。

この結果、病院としての病床は3階部分で36床減ることになり、9月からは2階一般病棟26床（1床増床）と4階緩和ケア病棟16床（1床増床）を合わせて42床の病院と3階部分に転換型老健施設29床を併設する複合施設になります。

高知県の療養病床の数は人口比で全国平均の3倍あるといわれています。高知県の療養病床を減らすことは国民医療費の増加をくい止めるためにも大切なことだと思います。ということで国の方針に沿い、当院も先陣を切ってその方向に舵を切ることにしたわけですが、絶対に忘れてはならないのが入院患者さん（これからは入居者さん）のサービスを質・量ともに落とさないことです。

3階の介護老人保健施設において、今までと最も異なる点はナースの数が少なくなることです。今までには夜の時間帯には夜勤のナースがいましたが、これからはナースがいるのは昼間だけとなり、夜間は介護士だけでお世話することになります。ただ、病院内にある介護老人保健施設ですからいざという時は近くに夜勤のナースや当直医がいるわけです。介護士も皆ベテランに育っていますので適切な判断と行動のできる、信頼される老健施設に育ててゆく覚悟です。

2. グループホームと看護小規模多機能型居宅介護の新設について

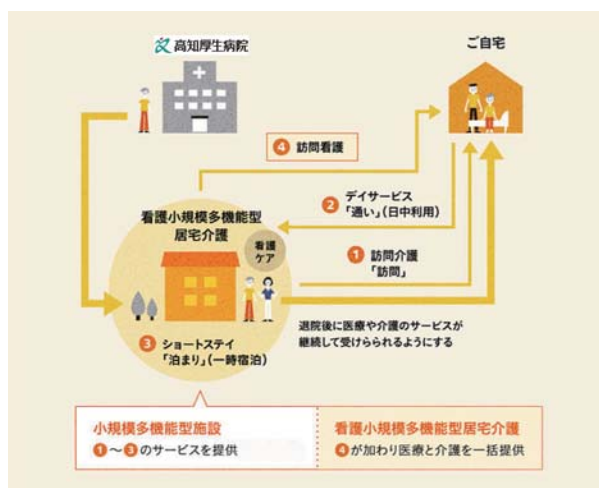
道路と線路を越えた当院の南向かいに4階建ての建物ができつつあります。ここに、18室のグループホーム（定員18名）と25人まで登録できる看護小規模多機能型居宅介護の施設ができることになっています。

グループホームはご存知の通り認知症の方が各自の能力を活かしながら共同で生活する場であり、認知症の進行を緩やかにして健康で幸せな日々を送っていただくための施設です。自分で着替え、食事の摂取や排泄などができる方が対象になります。

看護小規模多機能型居宅介護は聞きなれない言葉だと思います。これは、要介護（1～5）と認定された方で、通所介護（デイケア）を中心に利用しながら、必要に応じてショートステイ、訪問介護、訪問看護を受けることができるサービスです。いろいろなサービスが柔軟に利用できること、必要に応じて看護師も24時間対応することができるので医療面も安心です。

要介護度、医療必要度が高くなっても入院や入所はせず、できるだけ住み慣れたご自宅で生活したい時に利用していただきたいと思っています。私は「在宅ホスピス」の一つの形でもあるだろうと考えてこの仕組みに期待しています。

変わることがないと思っていた「気候」でさえ温暖化でしょうか？毎年荒々しく変化している今日この頃です。地域で暮らす人の人口構成や病気の種類も変化しています。高知厚生病院も地域のニーズに応えるべく変化しなければなりません。これからもスタッフ同一丸となって、地域の皆様の幸せのための医療・介護を追求してまいります。



緩和ケアレポート

七夕祭り

4階緩和ケア病棟 看護師 小橋 利恵



平成28年7月7日に七夕祭りを行いました。参加者は少人数でしたが患者様、ご家族様にも参加して頂き、みなさんが一緒に歌を歌ったり、たこ焼きやかき氷等を食べたり、楽しいひと時を過ごす事が出来ました。



研修会

「ふれあい看護体験実習生」を受け入れて

看護部長 岩本 泉

平成 28 年 7 月 28 日木曜日、毎年高知県看護協会が主催している「ふれあい看護体験」の実習生に今年も来ていただきました。実習に参加された方は 2 名の高校生でした。それぞれ、社会福祉士と看護師をめざしていて病院の役割や看護とは、生きること、死ぬことなどの説明にも熱心に聞き入っていました。解らないことを質問したり、メモを取ったりする熱心な姿にとっても好感が持てました。私たちも今一度原点を見つめなおし共に学習する良い機会となりました。また患者さんやご利用者さんにも新鮮な時間を過ごしていただくことができました。みなさんのご協力に感謝いたします。



スピリチュアルケア研修会に参加して

4 階緩和ケア病棟 傍士 美奈子

7 月 16 日～7 月 19 日・7 月 23 日～7 月 25 日計 7 日間、当院にてスピリチュアルケア研修会がありました。スピリチュアルケア研修とは高知県主催でがん患者支援推進協議会が運営しているもので、今年で 7 回目になります。がんと診断された時や予後について話があった際などはがん患者さんやそのご家族は多くの不安を抱えることから心のケアにも対応できる者を養成する為、こころのケアについての基礎的な知識を学ぶための研修です。

さまざまな職種の 6 名の研修生とグループワークや臨床実習を行い、心に寄り添う事の必要性、心に寄り添うとはどういう事を学び、感情、感性が豊かになったと思います。

今後もこの気持ちを持ち続け、仕事に役立てていきたいと思います。

日本ホスピス緩和ケア協会 2016 年度年次大会に参加して

地域連携・緩和ケア支援室 相談員 乾 亜矢

7 月 17 日～18 日 東京ビックサイト会議棟で行われた日本ホスピス緩和ケア協会の 2016 年度年次大会に参加させていただきました。今年も全国の緩和ケア病棟のある病院や、緩和ケアチームのある病院、在宅緩和ケアを行う診療所や訪問看護ステーション等から、700 名の参加がありました。

総会・シンポジウム・分科会・MSW セミナーに参加し、地域の特性がさまざまありますが、当院の培われてきた緩和ケアが全国レベルに引けをとらないことを改めて実感すると共に、自分自身の力をもっと高めていかなければと実感しました。



院内行事

敬老会

3階療養病棟 介護福祉士 大野 やよい

当院では月に1度ボランティアの方にお越しいただいて歌や踊り、大正琴、フラダンス等を披露していただいています。病棟・通所リハビリ利用者様が楽しみにされています。その中でも『もくせい会』というグループの石川さんは、30年以上前から当院へお越しいただいておりました。今回の敬老会を最後に引退となりましたが、いつも、面白おかしく踊って踊って楽しく、盛り上げてくださいました。

石川さん、本当にありがとうございました。

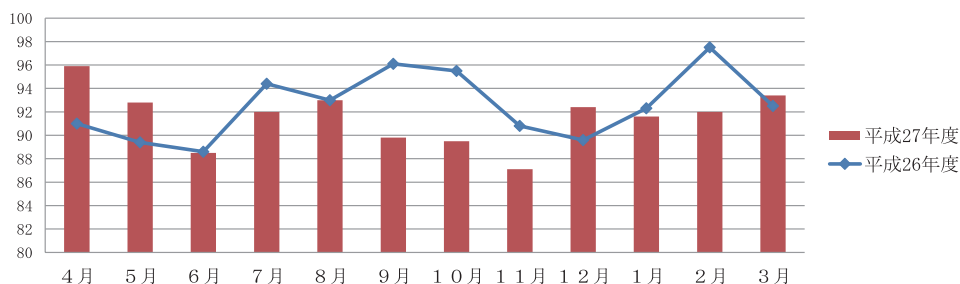
長い間お疲れ様でした。



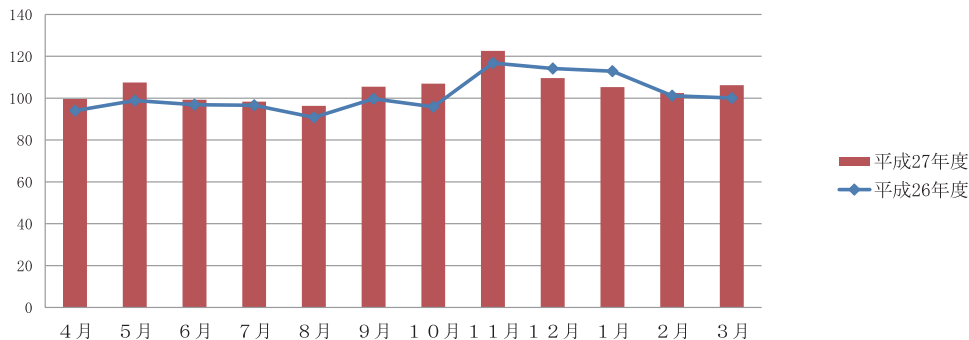
掲示板

診療実績報告(平成26・27年度)

● 病床稼働率



● 外来患者数(一日平均)



編集後記

介護老人保健施設こうせいがスタートしました。利用者様や、ご家族にこれまで以上に満足して頂けるよう、職員一同努力をしています。しかし、気が付かないこともあると思います。どうぞ、遠慮なく、お声かけしてください。お電話でも、どうぞお待ちしております。 相談員 乾



当院は平成15年9月22日より日本医療機能評価機構認定病院となっております。



◆ 特定非営利法人日本緩和医療学会より認定研修施設として認定されました



◆ 厚生労働省より医師の卒後臨床研修施設の認定を受けました



高知厚生病院

〒781-8121 高知市葛島1丁目9-50 Tel.088-882-6205 Fax.088-883-1655
ホームページ <http://www.kochi-koseihp.jp>